



—設計趣旨—

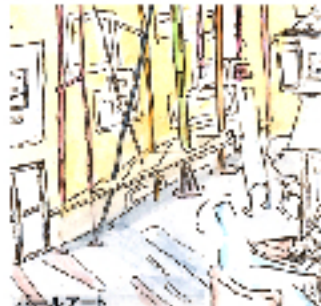
七間町。そこは映画の町、娯楽の町として有名である。しかし、最近では映画を観た後そのまま、駅周辺の市街地に流れてしまう。私たち学生もその中の一員である。このままでは映画館の移転、閉館でさらに七間町に人が来なくなり、廃れてしまう。そこで七間町から大道芸など、静岡が誇る娯楽文化を発信する。町を歩くと様々なアートと出会う。そんなアートの町に七間町は生まれ変わる。芸術は特別な場所で見るものでは無くなり、日常生活の一部になる。町全体がアートによって活気づき、賑わいを取り戻す。それが七間アートプロジェクト。



—地上平面図—



ボックス内に心の中の思いを表現するアート。



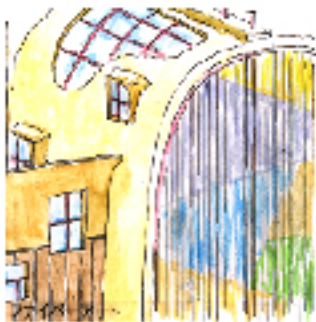
様々な色のポールを斜めやアーチにして帽子などを吊り下げ、アートを表現する。



一見、何が描かれているかわからないが正面に立つと模様や絵が浮かび上がってくる。



定期的には吹き抜けから落ちる水によって人の形や模様が表わされる滝のような壮大なアート。



ファイバーをたらしして波を作る。通ると先には新たな世界があなたを待っている。



様々なマテリアルをオリジナルに表現する壁面アート。



芸術家がつけた作品を直に触れてアートを退官する。



次の世代に映画街だったことを伝えたい。補強し耐久性を向上させ通りに面する公園に設置する。今まで以上に多くの人を惹きつけることだろう。

—壁画の保存—



—路面電車の復活—



環境負荷の軽減、バリアフリーの観点から新静岡駅～七間町～LR 静岡駅間に路面電車を巡回させ、七間町への人の流れを確保し、回遊空間の形成、交通アクセス向上を図る。

- ① 駿府公園
- ② 静岡南庁
- ③ 静岡中央署
- ④ 葵区役所
- ⑤ 伊勢丹
- ⑥ 静岡市美術館
- ⑦ 七間町駅
- ⑧ パルシェ
- ⑨ 新静岡駅
- ⑩ 静岡駅
- ⑪ 国道362号 (昭和通り)
- ⑫ 青葉通り
- 路面電車
- - - 設定地